

FFGS ポストプレスソリューション採用事例 ～株式会社北星社（兵庫県）～

“理に合ったアドバイス”で現場改善が大きく前進。 増え続ける梱包作業の大幅な効率化が実現。

同社が梱包作業の機械化を決断した背景には、クライアントからの短納期要求が厳しくなっていることに加え、近年、梱包のニーズが急速に増加しているという事情があった。

「最近では終了のみで納品する仕事は少なくなっており、梱包・仕分けまで求められることが多くなっています。そのため、梱包の作業量は増え続けており、手作業では追いつかなくなってきたのです」（西浦専務）

こうした課題に対する改善策として FFGS が提案したのが、クラフト完全自動包装機で梱包作業を省力化することにより、生産性を高め、製造原価を下げ、人員配置の見直しも図るといったもの。実際に導入して約半年の成果を、西浦専務はこう語る。

「これまで 5～6 人で行なっていた梱包作業が、現在では 2 人で充分こなせるようになっています。昼間に印刷・製本し夜間に梱包するというスケジュールを組むことで、人員の配置転換も行なえました。生産性も向上し、納期の短縮に繋がっていますし、仕上がり品質も均一になり、荷姿クレームも削減できました」

また、西浦専務は、他のポストプレス機器を含めた FFGS の導入サポートについて、こう評価する。

「担当の方は実際に製本業務の経験をお持ちなので、すべてのアドバイスが理にあっており、勉強になります。指摘くださることの多くは、コストの問題などで改善が後回しになってしまっている部分。そんな課題に対して、より現実的な提案をいただけますし、何か困ったことがあったときには迅速に対応してくださるので、非常に心強いです」

同社は今後も、人手のかかる作業を削減し、ヒューマンエラーのない、効率的な生産体制を目指して設備投資を進めていく考えだ。その一環として、現在、乱丁防止のためのバーコード管理なども採り入れ始めている。西浦専務は、今後の取り組みについて、FFGS への期待も含めてこう語った。

「ミスやロスを極限まで減らし、スピードと品質保証を両立させていくためには、“どんな設備を入れるか”だけでなく、“どう使うか”という運用ノウハウも重要です。FFGS さんはそうした運用面に関して豊富な知見を持っていらっしゃるのだから、これからはさらなる現場改善に向け、プロの目からのアドバイスをお願いしたいと思っています」



専務取締役・西浦妙子氏

